日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町２番８号（動力車会館）
電話｛（鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

94.12.19 No. 4114

動労総連合第９回定期大会(12/14-15)

分・民10年目の総括評価 攻撃粉砕へ！

新しい労働運動の潮流を創る中軸へ！ スクラムを固め進む動労総連合

十二月十四～五日、千葉市なのはな荘において、動労総連合第九回定期大会が開催され、三八名の代議員・傍聴者が集まり、熱い討論を行なった。

大会は、石幡代議員を議長に選出し、議事が進行された。

水野委員長がまずあいさつを行い、続いて経過報告・方針を布施書記長、決算・予算を田中財政部長が提起し、大会初日を終了、大会二日めから質疑応答に入った。

さらに、全代議員の提案で、「貨物合理化を粉砕する決議」を的場代議員が提起、方針案などを満場一致で採択し、スト権一〇〇％で批准した。

続いて、一九九四年度新役員が選出された。

今回退任となった辻川副委員長は、「部落解放東日本共闘で事務局長、労組交流センターで常任運営委員となり、そちらに集中したい。いま労働者階級のあり方を転覆させる攻撃や規制緩和という大合理化がかけられてきている。これから動労総連合ここにありという闘いを行なっていきたい。」とあいさつ、最後に水野委員長が勝浦市議選に向けた決意をのべ団結ガンバローで大会を締め括った。

質疑は以下のとおり

西日本

社内出向ということで大阪圏へ飛ばされる攻撃が再び来ている。運転関係では、ＪＲ総連が配転をかけられている。マツダ専用通勤列車が新設されたが、夜中の三時の運転である。これに伴い駅では睡眠時間が分けられるということが起こっている。

西日本

ＪＲ連合とＪＲ総連に別れた時、ＪＲ総連に残っていた旧動労グループが米子・近畿で独立したが、当局のてこ入れだ。北陸でもＪＲ総連書記長が当局の接待を受け、問題となっている。ＪＲ総連は自分さえよければそれでいいという連中ばかりだ。

千葉

当局は、未だ組合のネクタイが問題だとかいって、本来の安全問題をないがしろにしている。反合・運転保安の闘いを強化してもらいたい。

高崎

過労死、事故多発のなかで、ＪＲ総連は元気がない。組合員は反発しているが、何をやっていいのか解らない状況だ。やっていることは、当局との安全宣言・ストなし宣言・秩父事件の追悼碑のお参りバーベキュー・サッカーなどである。職場のことでいろいろ相談にＪＲ総連の組合員がうちの組合員のところへ来るようになっている。　本年われわれが闘った三・五ストで国労組合員にスト破り強制が行なわれたが、国労組合員がストに入り、連帯する闘いがかちとられた。

水戸

総連合機関紙の充実を図ってほしい。組織拡大を図りながら、その闘いの教訓を活かしながら、さらに組織拡大を図りたい。

水戸

職場では、やりたいことをやり、言いたいことを言っているのは動労総連合だけ。ＪＲ総連は元気がない。

水戸

無線による運転通告券の受領について、列車を走らせながら記入するということが日常的だ。動労総連合がきちっと列車指令と対応し、駅に停車した時点で通告券受領の記入を行なうことを通して、他の運転士に影響をもたらしている。

千葉

新採が職場に入らない歪みが全職場に出てきている。駅に配属されても二～三年で車掌へ回り、機械操作でも対応できる者がいなくなってしまう。

馬橋で発砲殺人が起きた。自動改札の導入・ホーム要員の廃止で駅には、改札に一人しかいない状況であり、防犯上問題である。団交でも、当局はわれわれの主張を反古にしている。駅では、誰か殺されなければ当局は考えないという話でもちきりだ。

千葉

職場でＪＲ総連は、「動乗勤導入で東は労働時間Ｂを入れさせたから勝利、西はＢがないから問題」とオルグしている。また、安全宣言大会を最近行なったりしている状況だ。

地区労センターで、連合労組が「中央から二重加盟をなくせと言われ、センターを解散すべき」と言ってきている。

西日本

四十代になると事故を起こす可能性が高くなる。安全な勤務体制を作らなければならない。動乗勤導入されたら終わりではなく、北陸では労基所闘争を行なっている。

新幹線連絡との関係で濃霧にも関わらず、定時運転で飛ばしていたが、安全運転を指令に無線連絡し闘ったことが、全体に波及している。

一九九四年度役員体制

執行委員長	水野 正美	千葉	高崎	
副執行委員長	平岡 誠	西日本	千葉	水戸
同	国分 勝之	水戸	千葉	高崎
書記長	布施 宇一	千葉	千葉	水戸
執行委員	山口 敏雄	千葉	千葉	水戸
	和田山 繁	高崎	千葉	水戸
	小川 正哉	西日本	千葉	水戸
	田中 康宏	千葉	千葉	水戸
	石井 真一	水戸	千葉	水戸
会計監査	岡田 広宣	高崎	千葉	水戸
	高石 博	千葉	千葉	水戸
	外岡 正弘	水戸	千葉	水戸